

トップニュース



宗派の開催寺院募集に手を挙げたのは同寺衆徒の晃一さん(52)、麻美さん(51)夫妻。麻美さんは「開かれたお寺にしたい」と思っていた。今後のお寺の在り方に対する危機感がずっとあった。...

現代版寺子屋「スクール・ナーランダ」

初めて一般寺院で開催

若者を対象にしたご縁づくりイベント「スクール・ナーランダ」。「現代版寺子屋」と銘打ち、科学や芸術、哲学など多様な分野から講師を招き、仏教との接点を見つめ、現代社会を生きる「心の軸」としての智慧や人との出会いを提供している。...

宗派が寺院伴走事業で支援

宗派の開催寺院募集に手を挙げたのは同寺衆徒の晃一さん(52)、麻美さん(51)夫妻。麻美さんは「開かれたお寺にしたい」と思っていた。今後のお寺の在り方に対する危機感がずっとあった。...

本願寺新報 hongwanji journal

3月10日(日曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺) 千600-8501 本願寺出版社内 電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

茶道 藪内家燕庵

京都市下京区西洞院正面下ル http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)

南無阿彌陀仏 「われにまかせよ そのまま教う」の 弥陀のよび声 私煩悩と仏のさとりは 本来一つゆえ そのまま教う」が 弥陀のよび声 ありがたいと いただいて この愚身をまかす このままで 救い取られる 自然の浄土 仏恩報謝の お念仏

これもひとえに 宗祖親鸞聖人と 法燈を伝承された 歴代宗主の 尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり 少しずつ 執われの心を 離れます 生かされていることに 感謝して むさばり いかりに 流されず 穏やかな顔と 優しい言葉 喜びも 悲しみも 分かち合い 日々に 精一杯 つとめます

赤光 白光 地域自治会の役員になり今月で任期を終える。32世帯を担当した。現在の地に家族で移り住んで9年目。役員になるまでは近隣住民の顔も知らず、ごみ出しの時に挨拶する程度だった。

▼年会費を徴収するため、緊張しながらインターホンを押していった。初めて話す皆さんの顔は笑顔だった。静かな住宅地には、一人暮らしの高齢者が多いことがわかった。住宅が増える以前はここが田畑だったことなど、昔のことを教わった。よそ者、と思いついていたのは私だけ。近いようで遠く感じた一軒一軒の距離が一気に近くなった。

▼2月20日号に掲載した山本譲治さんは富山県水見市姿地区の区長を務める。地震直後に地区の集会所に自主避難所を開設し、住民が身を寄せ合う共同生活を1カ月余り続けた。住民からは「顔なじみで気が知れたみんなと一緒にいると少しでも気が紛れる」という声もあった。山本さんは「とにかくみんなで助け合っていくこと。皆さんの協力があって避難所が成り立った」と振り返る。そこには地区の住民同士が助け合う共助の姿が見て取れた。

▼多くの災害支援で共通して挙げられるのは「地域コミュニティの重要性」。地域防災で一番大切なことは地域でのコミュニケーションだと考える。普段の何気ない交流が、一人暮らしの高齢者を救うこともある。役員を終えても地域の活動に積極的に携わり続けたい。有事に必ず生きてくるのももちろんだが、何よりも人の情が温かいから。

大阪・正覚寺 「これからのお寺考える機縁に」

インド古典音楽ライブを行った。また、門前の空き地では、ネパール音楽の演奏、青空法話、堺の文化・茶の湯接待が行われ、近隣の飲食店やアジアン雑貨店など17店舗の出店も並んだ。さらに、子ども向けにはスタンブラーを行うなど盛りだくさんの内容となった。

近所に住む岡田千春さん(40)は娘の唯花さん(7)と参加。「チラシで知った。お寺の前はよく通るが、中に入ったのは初めて。子どももスタンブラーを楽しんでいた。こういうイベントなら気軽に立ち寄れる」と語る。友人に誘われて参加した大阪市の岩本明子さんは「お寺が地元で愛されている感じがし、優しい雰囲気が素敵。ライブもすごくよかったです。またやってほしい」と笑顔。

多くの若者が楽しむ姿を見ながら橋岡住職は「私は開催には消極的だった。お寺に若い人を集めるなんて無理だと思っていた。『開かれたお寺』という娘夫婦の熱意、ご縁づくりスタッフの皆さんのアイデア、門信徒、地域の方々の協力のおかげで素晴らしい行事ができた。同時に今までの反省も生まれた。これまでの寺院活動だけではお寺が次の代に引き継がれていくの、これからのお寺の在り方を考える機縁になった」と話す。門徒総代の山口忠義さん(88)も「こんなに若い人ではないお寺を見たのは初めて。お寺の未来に悲観的だったが、今日を境に考え方が変わった」と喜ぶ。

麻美さんは「役員さんや住職の意識も変化し、準備の中で私たちが気づいていなかった正覚寺の強みに気づかせてもらい、自信になった。スタッフとして手伝ってくれた門徒のお子さんやお孫さんたち、賛同してくださった堺市の活性化に励む方々や市役所の職員さんなど、新しいことがあがりたくさんで、新しいことに、これからのご縁づくりにも生かせる」と意欲を見せた。

ご縁づくり活動推進会議の三島慶昭委員長(67)、鹿児島県鹿屋市・大円寺住職の二般寺院での開催をサポートするために立ち上げた「寺院伴走支援事業」。イベント開催を通して、各寺院が持っている強みを再発見してもらい、それを地域や社会に発信していく中で「人の輪」を作ってもらうことが何よりの目的。この事業を全国のご縁づくりに悩むお寺さんに広げていければと願いを語った。同推進室ホームページに、今回の企画から当日までの具体的な流れ、打ち合わせ内容の一部などが掲載されている。



総門(大谷本廟)

開、そして4月最初の雨でさっと散ってしまう、そんな桜です。この写真では少しわかりにくいのですが、総門の奥に見える境内の桜も同じタイミングで咲いているのが伺えます。天候次第ではありますが、お彼岸の時期に一足早い桜を見ることができ、そんな本廟の桜です。ぜひ春のお彼岸のご参拝の際にはご覧ください。

西本願寺の風景 四季折々に境内を歩いて 本願寺出版社刊 1650円(税込) 逢坂憲吾さんが約5年にわたり撮り重ねた本願寺の風景をまとめた写真集。お求めは本願寺出版社 注文専用フリーダイヤル0120-4644-5833。

逢坂憲吾の 四季折々に 境内を歩いて 大谷本廟、総門前の桜です。本廟には、桜が3カ所植えられています。1カ所目は門通橋前、2カ所目が総門に向かう階段前、そして3カ所目が境内の花噴水付近。この写真は、その2カ所目である総門前の桜です。本廟は日当たりが良いせいか、京都市内の桜より開花時期がほんのり早く、ひと足先に春の訪れを感じることができる場所です。おおむね3月中旬ごろからチラホラと咲き始め、3月の終わりには満

京ゆば 湯葉 弥 京・五条御前東 電話075-311-4157七八八 http://www.yubaya.co.jp

創業元禄初年 大笹屋 京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6 TEL 075-751-6889 FAX 075-751-7304 E-mail:m@ozasaya.com

施設管理は、 オリックス・ファシリティー株式会社 本店 〒600-8385 京都府京都市下京区大宮通仏光寺下る五坊大宮町9-9 TEL 075-8411-7550(代表) FAX 075-8411-7666

加羅・沈香・線香・匂い袋 香老舗 創業文禄三年(1594年) 薫玉堂 京都府京都市下京区堀川通西本願寺前 〒600-8349 電話075-3771-01662

Passion for the Best 大和証券 Daiwa Securities 大切な資産のこと、将来のこと、わたしたちにご相談ください

意訳・井上見守 イラスト・ノ瀬かある 850円(税別) 700円(税込) ひとへに 歎異抄 読む 感じる 思い浮かべる 歎異抄 『歎異抄』原文の力強さ。臨場感あふれる「現代語訳」。ユニークで繊細なイラスト。『歎異抄』の魅力を残すことなく詰め込んだ1冊となっています。 本願寺出版社 0120-464-583 075-341-7753